

会津そば通信 第1号 (令和7年7月発行)



会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば
福島県農業共済組合会津支所・JA全農福島県本部・
福島県会津農林事務所農業振興普及部

☑ 今回の栽培ポイント

- ①排水対策 ②土づくり ③適期播種

1 ほ場の準備 ～排水対策を中心に～

そばは、湿害に極めて弱い作物です。

特に出芽～生育初期の湿害が、その後の生育や収量に大きく影響します。排水対策を徹底しましょう。

(1) 排水対策の徹底

- 額縁明渠等により、隣接ほ場からの浸透水や地表面での滞水を防ぎましょう。
- 弾丸暗渠や心土破砕を行い透水性を向上させましょう

(2) 土づくり・施肥

- そばに適した土壌pHは6前後です。
- 以下の表を施肥の目安とし、土づくり・施肥を行いましょう。
- リン酸、カリ：結実率や耐倒伏性の向上に対する効果大しっかり施用しましょう。
- 窒素の過剰施用：倒伏や結実低下の原因！注意してください。

○10aあたりの施用量（土づくり）

苦土石灰	堆肥	ようりん
80～100kg	1～1.5t	30～40kg

○10aあたりの施用量（施肥）

窒素	リン酸	カリ
2～3kg	3～5kg	2～3kg

2 播種作業

(1) 種子の準備

- そばは、他家受粉性で自然交雑しやすいので、定期的に種子を更新するとともに、地域内ではなるべく同じ品種を作付けしましょう。

(2) 播種量・播種時期

- 播種量全面全層播(ばら播き)：5～7kg/10a
条播(ドリル播き)：3～5kg/10a
- 播種が早すぎると・開花時期の高温による不稔障害
遅いと・生育不足や降霜による被害
適期に播種を行いましょう。

地域区分	播種適期
山間高冷地	7月下旬～8月上旬
平坦部	8月上旬～中旬

(3) 出芽不良対策

- R5は湿害や干ばつにより出芽不良が起こりました。
- 以下の対策を行いましょう。

干ばつ対策

- 播種前の砕土を丁寧に行い、播種後の鎮圧をしっかり行う。
- 湿害の恐れがないほ場では、播種深度を少し深くする。

湿害対策

- 初期の湿害に極めて弱い作物です。
- 播種後に大雨が予想される場合は、播種作業を延期する。
- 額縁明渠や排水路、暗渠等を設置し、水が留まらないようにする。

！！農作業中の熱中症に注意しましょう！！
今後も暑くなる予報です。

作業前・作業中は30分に1回程度休憩をとり、こまめに水分補給をしましょう。

